




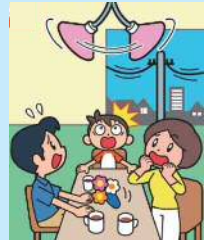






地震が発生したときには

震度と想定される被害

震度	想定される被害	状況
震度7	揺れに翻弄され、自分の意志で行動できない。 ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。 ほとんどの建物で、壁やタイルや窓ガラスが破損、落下する。 耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。	
震度6強	立っていることができず、這わないと動くことができない。 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。 耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものが多い。 耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。	
震度6弱	立っていることが困難になる。 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。 かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。 耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。	
震度5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。 補強されていないブロック塀の多くが崩れる。 耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。 自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。	
震度5弱	多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人には行動に支障を感じる。 吊り下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、本が落ちることがある。 窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
震度4	かなりの恐怖感があり、一部の人には身の安全を図ろうとする。 吊り下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。 補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
震度3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。 棚にある食器類が、音を立てることがある。 電線が少し揺れる。	
震度2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。 電灯などの吊り下げ物が、わずかに揺れる。	
震度1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	
震度0	人は揺れを感じない。	

【気象庁震度階級関連解説表抜粋 | 震度と揺れ等の状況（概要）】

注）マグニチュードとは、地震の規模を表す指標で、震度とは、その地点での揺れを表す指標です。